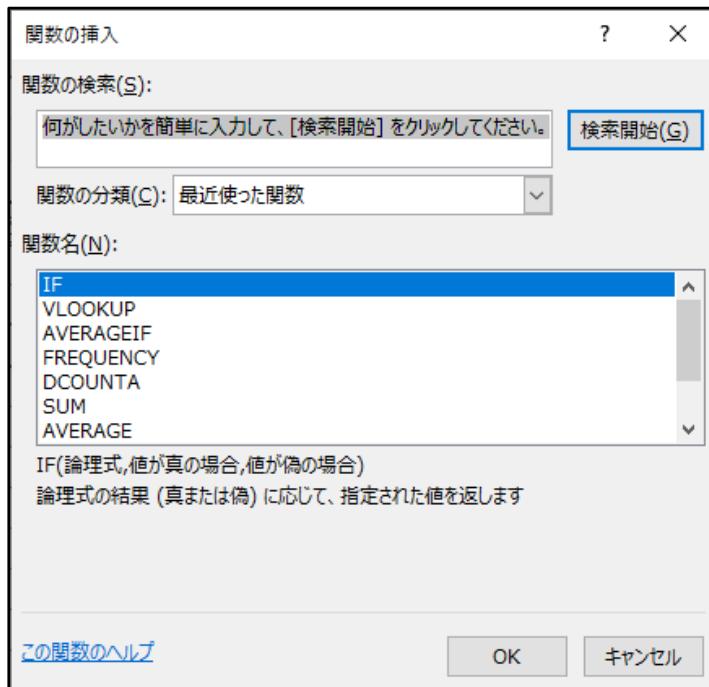


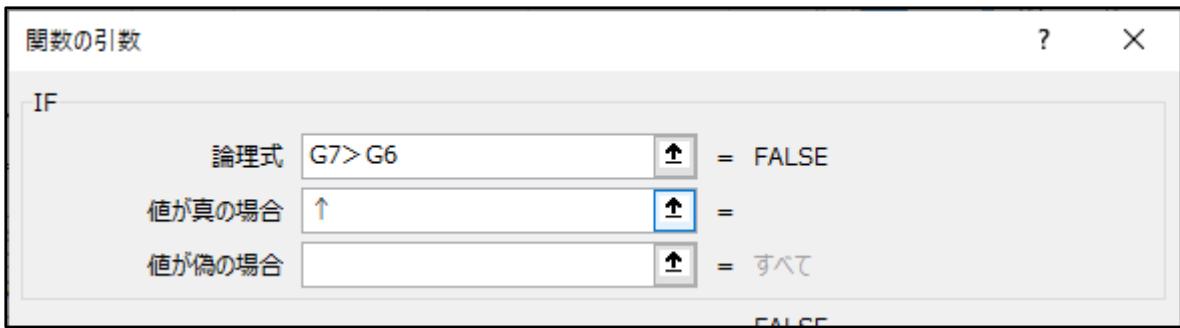
## タイピング練習帳③（改良）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2	タイピング練習帳							番号	1100	名前	情報太郎				
3															
4	回数	練習日	文字数	進んだ数	時間	速度	比較	メモ							
5	0		281												
6	1	1月24日	520	239	5	47.8		5分300文字を目標に頑張る							
7	2	1月31日	730	210	5	42		入力モードが全角英数が出てきて時間をロスした							
8	3	2月14日	941	211	5	42.2		1行目でEnterを押してしまった							
9	4	2月21日	1163	222	5	44.4		アウトライン番号がおかしなことになった							
10	5	2月28日	1427	264	5	52.8		思うほど速く打てていなかった							
11	6														
12	7														
13	8														
14	9														
15	10														
16															

セル H7 をアクティブにして、関数の挿入ボタンを押す。



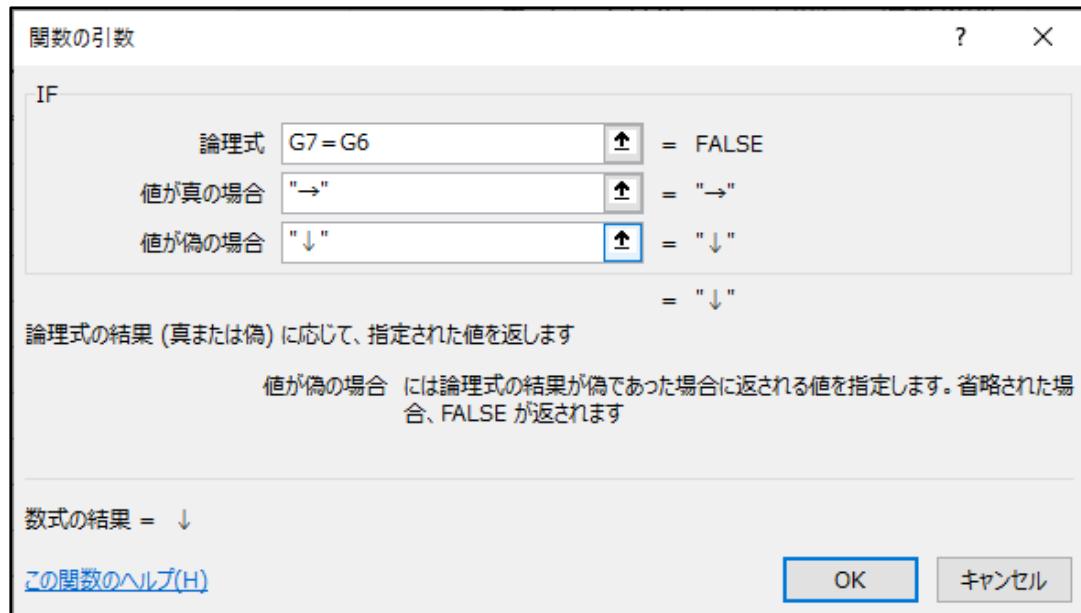
IF 関数を挿入して、論理式を「G7>G6」、値が真の場合を「↑」とする。



値が偽の時に、G7 と G6 が同じだったら「→」、G7 が G6 を下回っていたら「↓」としたいので、値が偽の場合の欄を選択した後、「名前ボックス」をクリックして、IF を選択する。この時、自動的に↑の両隣に「“」が挿入され、「"↑"」となる。

練習日	文字数
1月24日	52
1月31日	73
2月14日	94
2月21日	116
2月28日	142

値が偽の場合に IF 関数が入った状態になり、その引数の、論理式を「G7=G6」、値が真の場合を「→」、値が偽の場合を「↓」とする。



数式は下記のようになる。

=IF(G7>G6, "↑", IF(G7=G6, "→", "↓"))

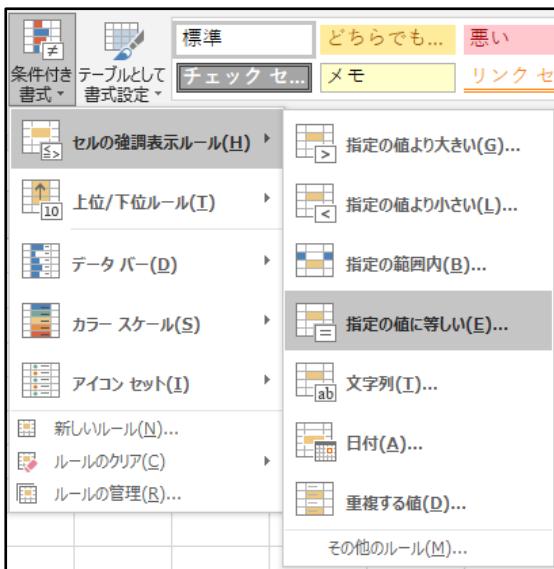
セル H7 の式を H15 までオートフィルでコピーする。

オートフィルした後、書式が崩れるので、オートフィルオプションで書式なしコピーを選択する

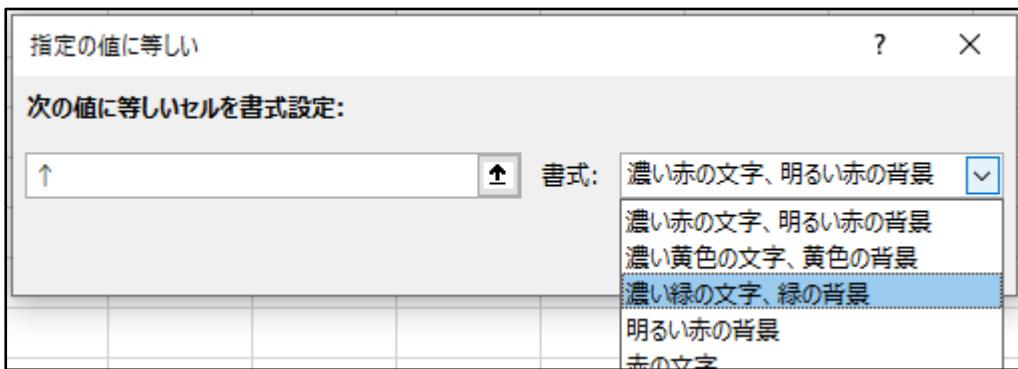
## ■条件付き書式を設定する

セル H7 から H15 を選択し、ホームタブの条件付き書式のセルの強調表示ルールの指定の値に等しいを選択する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
1															
2	タイピング練習帳									番号	1100	名前	情報太郎		
3															
4	回数	練習日	文字数	進んだ数	時間	速度	比較			メモ					
5	0		281												
6	1	1月24日	520	239	5	47.8		5分300文字を目標に頑張る							
7	2	1月31日	730	210	5	42	↓	入力モードが全角英数が出てきて時間をロスした							
8	3	2月14日	941	211	5	42.2	↑	1行目でEnterを押してしまった							
9	4	2月21日	1163	222	5	44.4	↑	アウトライン番号がおかしなことになった							
10	5	2月28日	1427	264	5	52.8	↑	思うほど速く打てていなかった							
11	6						↑								
12	7						→								
13	8						→								
14	9						→								
15	10						→								
16								③							



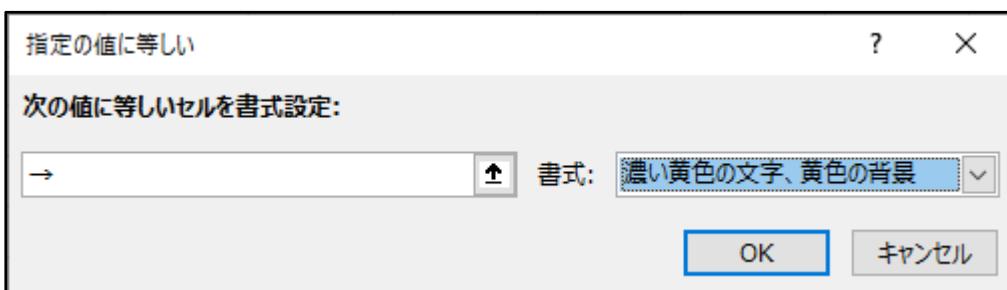
左の欄に「↑」と入力し、書式を「濃い緑の文字、緑の背景」を選択する



G	H	I
速度	比較	
47.8	5分3	
42	↓ 入力モ	
42.2	↑ 1行目	
44.4	↑ アウト	
52.8	↑ 思うほ	
↑	↓	
	↓	
	↓	
	↓	

同様に

→を「濃い黄色の文字、黄色の背景」



↓を「濃い赤の文字、明るい赤の背景」



【完成】